

	シリーズ名	高校大学間における科学教育の円滑な接続に関する研究、高校大学間の学びの接続に関する研究
	氏名・所属・役職	大久保敦・大学教育研究センター・教授
<p><概要></p> <p>1. 研究の背景</p> <p>大学への進学率増加に伴う大学教育の大衆化、あるいは選抜方法の多様化に伴う大学入学者の多様化が顕著な昨今、高校生が大学生へ円滑に転換していくための各種対応の必要性が認識され始めています。たとえば、選抜方法の工夫、あるいはその受け入れやその後の教育への配慮が大学側へ求められています。しかし、大学側の対応はこれからというのが現状です。これらに適切に対応するためには、学習を高校段階から大学段階まで連続したものとして捉え、解明することが必要であると考えます。</p> <p>2. 研究内容</p> <p>1) 高校教育と大学教育の接続に関する調査・研究</p> <p>①高校、大学、卒業後を通じた教育の接続に関する実態調査</p> <p>②高校大学の教育の連携に関する課題や今後のあり方に関する研究</p> <p>2) 高校と大学の自然科学教育の接続に関する調査・研究</p> <p>①高校大学を通じた自然科学教育の実態調査</p> <p>②高校大学を通じた自然科学教育の課題や今後のあり方に関する研究</p> <p>③学士課程における自然科学教育のカリキュラム、教材、教育方法等に関する研究</p> <p><アピールポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から、青年期を対象とした学習に関する研究はありましたが、大衆化した大学をフィールドとし、また多様化した大学生を対象とした学習に関する調査研究は、まだまだ未開拓分野です。 <p><利用・用途・応用分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種教育機関・教育行政・教育産業での利活用が期待されます。 <p><関連する知的財産権></p> <p><関連するURL></p> <p>http://www.rdhe.osaka-cu.ac.jp/</p> <p><他分野に求めるニーズ></p>		
キーワード	高大接続、高大連携、高校教育、大学教育、入学者選抜、科学教育	